

## 原液の危険物等級及び指定数量

**ポリイソシアネート**  
第4類第4石油類(指定数量6,000ℓ)

**ポリオール混合物**  
非危険物(指定数量なし)

### 注意事項

- 1) 火気厳禁 ————— ウレタン施工後やむをえず溶接、溶断される際は消化器(水入りバケツ)を準備され、監督者立ち合いの上で実施してください。
- 2) 保管の注意点 ————— ドラム缶は倉庫内の冷暗所で保管してください。  
屋外に保管する場合はフタを確実にしめ、水分が入らないように十分注意してください。  
ドラム缶は内圧が高くなっている場合があります。蓋を開ける際は圧抜きをしてから開封してください。
- 3) 施工上の留意点 ————— 施工上の留意点は原液使用標準をご確認ください。(※詳細はご相談ください。)
- 4) 酸素欠乏の防止対策 — 地下室等、酸素欠乏の恐れのある通風が不十分な現場での作業については万全の安全対策を行ってください。

**アクアフォーム施工中に出た端材は、  
断熱吹込み工法「アクアブロー」に。**



**アクアブローは  
広域認定制度を利用し  
製品化された断熱材です。**

#### 広域認定制度とは

産業廃棄物許可の環境省が認定する特例制度。  
廃棄物の処理を当該製品製造や構造を熟知している製造者等が  
広域に行う事により、高度な再生処理や第三者が出来ない廃棄物  
の減量化や適正処理が確保される事を目的とする制度です。

# NEO



## アクアフォーム<sup>®</sup> NEO

代替フロンとノンフロンのそれぞれの良さを両立し、  
品質と環境に配慮した吹付け硬質ウレタンフォーム。

高性能で環境特性の高いノンフロン  
吹付け硬質ウレタンフォーム

# アクアフォーム® NEO



「アクアフォーム®NEO(ネオ)」は、代替フロンタイプ、ノンフロンタイプの両方の長所を備えており、発泡剤に採用したHFOはオゾン層破壊係数(ODP)が「0(ゼロ)」、地球温暖化係数(GWP)も「1」のため、地球温暖化防止に貢献いたします。

また、従来のHFCと同等の断熱性能が得られるため、現在のノンフロンタイプで課題とされていたフォームの厚さを薄くすることができます。代替フロンとノンフロンのそれぞれの良さを両立した「アクアフォーム®NEO」は環境に配慮したこれからの断熱材です。(2016年10月JISマーク表示製品の認証を取得しました。)

## アクアフォーム®NEO施工厚み減例



※本例は断熱材の熱抵抗の基準値(H28年度)4〜7地区鉄筋コンクリート内断熱を基に計算した例であり実際の設計厚さに関しては国土交通省告示等に従ってください。

- ※1:HFO(ハイドロフルオロオレフィン) ———— HFCと特性が似ていて毒性が低く、熱的安定性も高い発泡剤です。地球温暖化係数が「1」で、温室効果の軽減、温暖化防止に貢献します。
- ※2:HFC(ハイドロフルオロカーボン) ———— 2003年末で生産・輸入が全廃されたフロンに替わるもの。地球温暖化係数が950のものが代表的。オゾン層を破壊しないものの、温室効果ガスに分類されている。
- ※3:ODP(オゾン層破壊係数) ———— 大気中に放出された物質がオゾン層に影響を与える度合い。CFC-11(トリクロロフルオロメタン)を1.0とした場合の値。
- ※4:GWP(地球温暖化係数) ———— 二酸化炭素を基準にして、ほかの温室効果ガスがどれだけ温暖化に影響するかを表した数値。温暖化への影響度合いを、CO<sub>2</sub>を1とした場合の値。

## アクアフォーム®NEOの特徴

01

高性能

従来のウレタンフォームと同等の断熱性能を持ちます。

02

環境特性

オゾン破壊係数(ODP)がゼロで、地球温暖化係数(GWP)が低い新発泡剤を使用しております。

03

施工特性

従来のノンフロンタイプ(水発泡)と比較して環境温度の影響を受けにくく施工性に優れます。

## 吹付け硬質ウレタンフォームに用いられる発泡剤の物性一覧

発泡剤	代替フロン (HFC-245fa)	新発泡剤 (HFO)	炭酸ガス (水 CO <sub>2</sub> )
オゾン層破壊係数(ODP)	0	0	0
地球温暖化係数(GWP)	950	1	1

## アクアフォーム®NEOの物性値

試験項目		物性測定値	試験方法	規格値 JIS A9526:2015(A種1H)
原液粘度	ポリイソシアネート成分 (mPa・s)/20°C	304	JIS A-9526	80~1500
	ポリオール成分 (mPa・s)/20°C	372	JIS A-9526	80~1500
圧縮強さ	(kPa)	183	JIS A-9526	80以上
接着強さ	(kPa)	214	JIS A-9526	80以上
熱伝導率	(W/(m・K))	0.021	JIS A-9526	0.026以下
透湿率	(ng/(m・s・Pa))	1.88	JIS A-9526	9.0以下
燃焼性	(秒) (mm)	60	JIS A-9526	燃焼時間が120秒以内で、かつ、燃焼長さが60mm以下
		31		

※性能の改善により、物性値は変わる事があります。  
※発泡剤ハイドロフルオロオレフィン(HFO)は、フロン類に該当しない、とJISA9526-2015では定義しています。  
※当社実測値であり、保証値ではありません。※設計値についてはJIS規格値を用いることを推奨いたします。

- ・品質性能試験報告書
- ・JIS A1321に規定する難燃3級の表面試験

※第三者試験機関により難燃3級の表面試験に合格していますが、認定を取得したという意味ではありませんので、難燃3級相当品となります。  
※本書に含まれる情報は情報提供時に入手できた資料や情報に基づいて提供するものであり、当社が保証するものではありません。

